

災害時の連絡先

災害伝言ダイヤル・災害用伝言板

利用する伝言サービスを普段から決めておきましょう。

災害時には電話が繋がりにくくなります。安否確認等には、災害伝言ダイヤルや災害用伝言板が活用できます。

災害用伝言ダイヤル「171」

1 7 1 に電話する

録音
伝言を残すには

再生
伝言を聞くには

1 2

被災地・携帯電話の電話番号
をダイヤルする

伝言を録音する 伝言を再生する

災害用伝言板「web171」

web171 と検索する
<https://www.web171.jp>

登録・確認
するには

被災地・携帯電話の電話番号
を入力する

説明に従い、伝言を登録・確認する

NTT docomo

<http://dengon.docomo.ne.jp>

au (KDDI)

<http://dengon.ezweb.ne.jp>

SoftBank/Y!mobile

<http://dengon.softbank.ne.jp>

BOSAI 知識

事前の備え

家屋への浸水を防ぐ方法

止水板で防ぐ



出入口に板などを設置し、浸水を防止しましょう。

土のうを準備



土のうがない場合は
2重のゴミ袋に水を入れて使います。

防災訓練の実施



筑西市では、水害時の住民対応力向上を目的に、水害の危険性がある地域において防災訓練を実施しております。

水害の危険性がある地域（特に早期の避難が必要な地域）にお住まいの方は、是非ご参加ください。



準備品

避難所の備蓄品には限りがあります。災害時には必要なものが手に入りづらくなるため、備蓄しておきましょう。



7日以上 確保 の食料品 (最低3日分の備蓄をしましょう)

☐ 飲料水 (1日1人3ℓが目安)
☐ レトルト食品 (缶詰・ドライフーズ)
☐ インスタントラーメン・味噌汁

☐ 栄養補助食品
☐ お菓子など



生活用品等

☐ ラップ・ビニール袋
☐ 給水用ポリタンク
☐ 簡易食器 (割り箸、紙皿)

☐ ティッシュペーパー
☐ ウエットティッシュ
☐ 水不要のシャンプー

☐ ロープ・工具セット
☐ ほうき・ちりとり
☐ 長靴

燃料

☐ 固形燃料
☐ カセットコンロ
☐ ガスボンベ



ローリングストック法

保存性のよい食料や水、日用品を多めに買い置きし、消費したら買い足すことで、むだなく備蓄をすることができます。

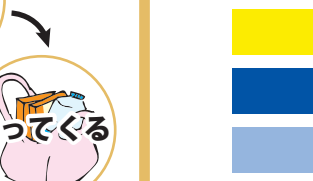


トイレ用品

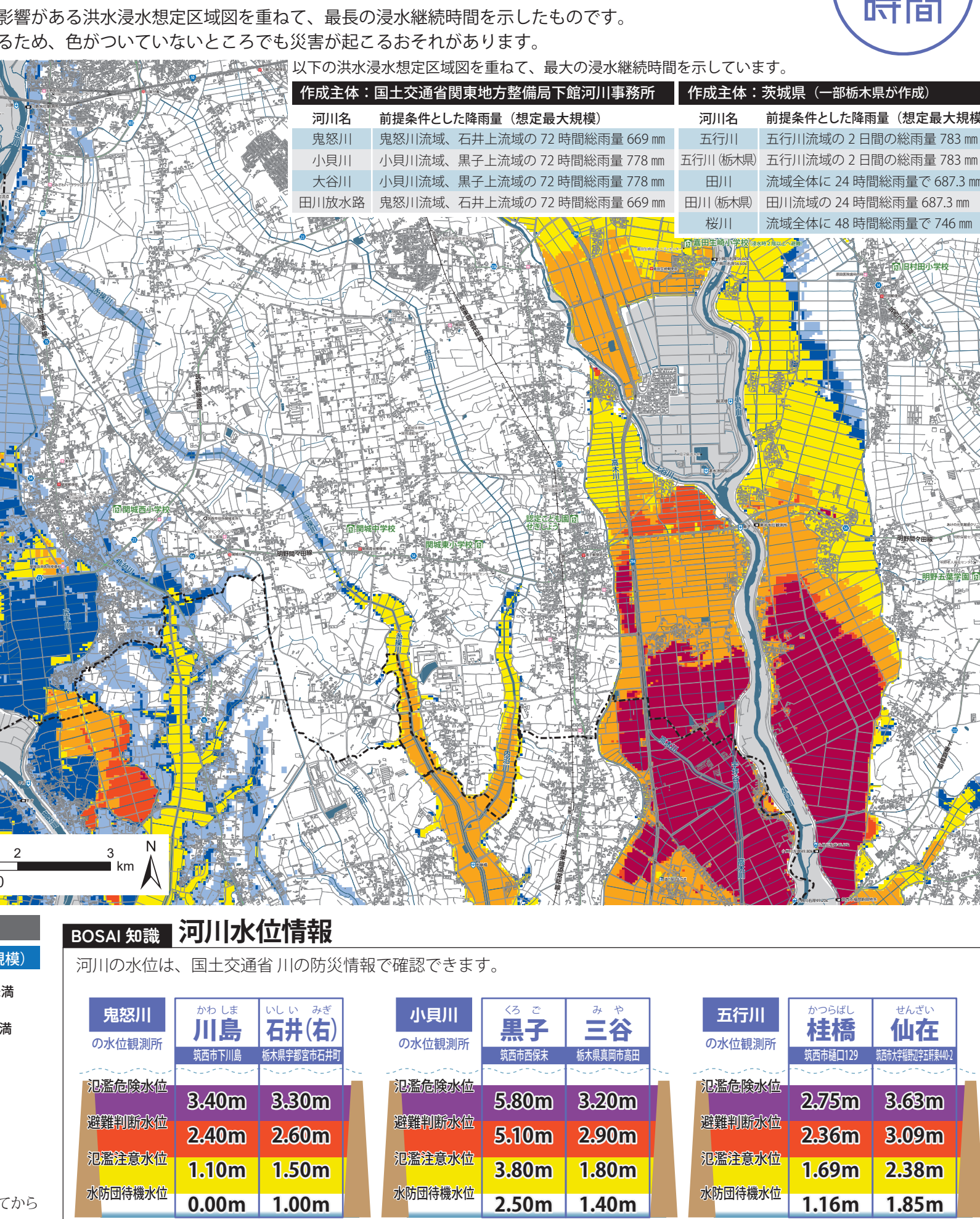
☐ 簡易トイレ
☐ トイレ袋
☐ トイレレットペーパー

避難所までの移動経路

避難所までの移動経路を確認し、徒歩で避難所まで移動できるようにしましょう。

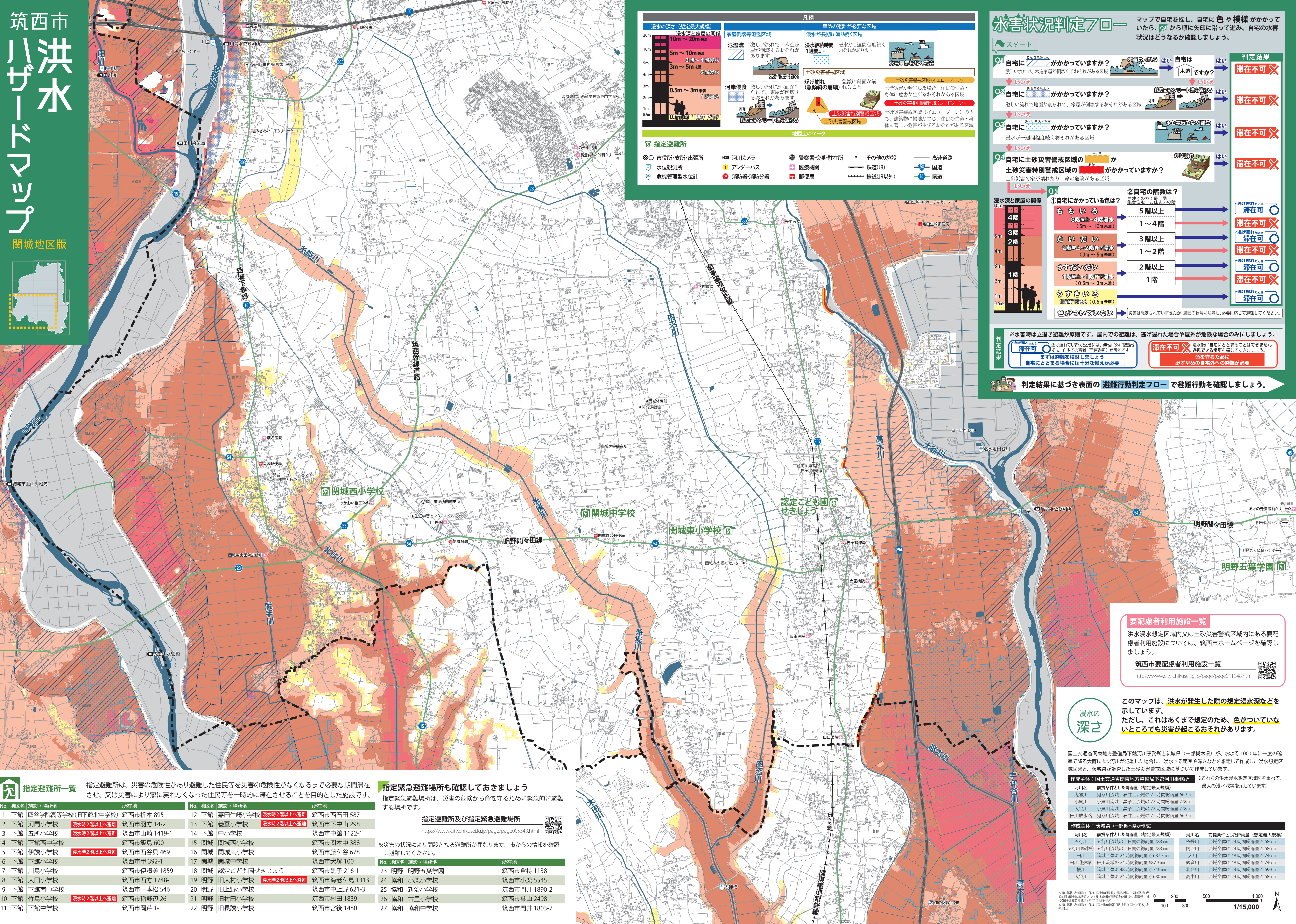
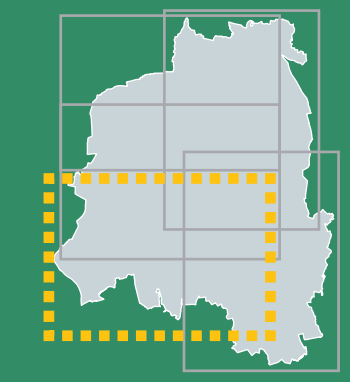


時間マップ【関城地区】



筑西市
ハザードマップ
洪水

関城地区版



凡例

浸水の深さ(想定最大規模)
浸水深と家屋の関係
10m～20m未満
5m～10m未満
3m～5m未満
2階浸水
0.5m～3m未満
1階浸水
0.5m未満
1階浸水

家屋倒壊等氾濫区域
浸水が長期に渡り続く区域
浸水継続時間
1週間以上
浸水が1週間程度続くおそれがあります

土砂災害警戒区域
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
土砂災害特別警戒区域
土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域

急激に斜面が崩れること
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命・身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域

地図上のマーク

指定避難所

◎ 市役所・支所・出張所
④ 水位観測所
⑤ 危機管理型水位計

河川カメラ
アンダーパス
消防署・消防分署

警察署・交番・駐在所
医療機関
郵便局

その他の施設
鉄道(JR)
鉄道(JR以外)

高速道路
国道
県道

水害状況判定フロー

マップで自宅を探し、自宅に色や模様がかかっていたら、①から順に矢印に沿って進み、自宅の水害状況はどうなるか確認しましょう。

スタート

Q1 自宅に色や模様がかかっていますか？
はい → 自宅は木造ですか？
はい → 判定結果 滞在不可
いいえ → Q2

Q2 自宅に色や模様がかかっていますか？
はい → 判定結果 滞在不可
いいえ → Q3

Q3 自宅に色や模様がかかっていますか？
はい → 判定結果 滞在不可
いいえ → Q4

Q4 自宅に土砂災害警戒区域の黄色がかかっていますか？
はい → 判定結果 滞在不可
いいえ → Q5

Q5 ①自宅にかかっている色は？
ももいろ 3階以上～4階浸水(5m～10m未満) → 5階以上 → 1～4階 → 判定結果 滞在不可
だいたい 2階以上～2階下浸水(3m～5m未満) → 3階以上 → 1～2階 → 判定結果 滞在不可
うすだいたい 1階以上～1階下浸水(0.5m～3m未満) → 2階以上 → 1階 → 判定結果 滞在不可
うすきいろ 1階下浸水(0.5m未満) → 判定結果 滞在可
色がついていない → 災害は想定されていませんが、周囲の状況に注意し、必要に応じて避難してください。

判定結果

※水害時は立退き避難が原則です。屋内での避難は、逃げ遅れた場合や屋外が危険な場合のみにしましょう。
滞在可 逃げ遅れてしまったときには、無理に外に避難せず、自宅での避難(自主避難)が可能です。
滞在不可 滞後に自宅にとどまることはできません。避難できる模様を確認しておきましょう。
必ず早めの自宅外への避難が必要

指定避難所一覧

指定避難所は、災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、又は災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的とした施設です。

No.	地区名	施設・場所名	所在地
1	下館	四谷学院高等学校(旧下館北中学校)	筑西市折本 895
2	下館	河間小学校	浸水時2階以上へ避難 筑西市羽方 14-2
3	下館	五所小学校	浸水時2階以上へ避難 筑西市山崎 1419-1
4	下館	下館西中学校	筑西市飯島 600
5	下館	伊讃小学校	浸水時2階以上へ避難 筑西市西谷貝 469
6	下館	下館小学校	筑西市甲 392-1
7	下館	川島小学校	筑西市伊讃美 1859
8	下館	大田小学校	筑西市西方 1748-1
9	下館	下館南中学校	筑西市一本松 546
10	下館	竹島小学校	浸水時2階以上へ避難 筑西市稲野辺 26
11	下館	下館中学校	筑西市岡芹 1-1

指定緊急避難場所も確認しておきましょう

指定緊急避難場所は、災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所です。

指定避難所及び指定緊急避難場所
<https://www.city.chikusei.lg.jp/page/page005343.html>

※災害の状況により開設となる避難所が異なります。市からの情報を確認し避難してください。

No.	地区名	施設・場所名	所在地
12	下館	嘉田生崎小学校	浸水時2階以上へ避難 筑西市西石田 587
13	下館	養蚕小学校	浸水時2階以上へ避難 筑西市下中山 298
14	下館	中小学校	筑西市中館 1122-1
15	関城	関城西小学校	筑西市関本中 388
16	関城	関城東小学校	筑西市藤ヶ谷 678
17	関城	関城中学校	筑西市犬塚 100
18	関城	認定こども園せきじょう	筑西市黒子 216-1
19	明野	旧大村小学校	浸水時2階以上へ避難 筑西市海老ヶ島 1313
20	明野	旧上野小学校	筑西市中上野 621-3
21	明野	旧村田小学校	筑西市村田 1839
22	明野	旧長誤小学校	筑西市宮後 1480

指定避難所及び指定緊急避難場所

<https://www.city.chikusei.lg.jp/page/page005343.html>

No.	地区名	施設・場所名	所在地
23	明野	明野五葉学園	筑西市倉持 1138
24	協和	小栗小学校	筑西市小栗 5545
25	協和	新治小学校	筑西市門井 1890-2
26	協和	古里小学校	筑西市桑山 2498-1
27	協和	協和中学校	筑西市門井 1803-7

浸水の深さ

このマップは、洪水が発生した際の想定浸水深などを示しています。
ただし、これはあくまで想定のため、色がついていないところでも災害が起こるおそれがあります。

国土交通省関東地方整備局下館河川事務所と茨城県(一部栃木県)が、およそ1000年に一度の確率で降る大雨により河川が氾濫した場合に、浸水する範囲や深さなどを想定して作成した浸水想定区域図※と、茨城県が調査した土砂災害警戒区域に基いて作成しています。

作成主体：国土交通省関東地方整備局下館河川事務所 ※これらの洪水浸水想定区域図を重ねて、最大の浸水深等を示しています。

河川名	前提条件とした降雨量(想定最大規模)	河川名	前提条件とした降雨量(想定最大規模)
鬼怒川	鬼怒川流域、石井上流域の72時間総雨量669mm	五行川	五行川流域の2日間の総雨量783mm
小貝川	小貝川流域、黒子上流域の72時間総雨量778mm	五行川(栃木県)	五行川流域の2日間の総雨量783mm
大谷川	小貝川流域、黒子上流域の72時間総雨量778mm	田川	流域全体に24時間総雨量で687.3mm
田川放水路	鬼怒川流域、石井上流域の72時間総雨量669mm	田川(栃木県)	田川流域の24時間総雨量で687.3mm
		観音川	流域全体に48時間総雨量で746mm
		桜川	流域全体に48時間総雨量で746mm
		北谷川	流域全体に24時間総雨量で690mm
		大谷川	流域全体に24時間総雨量で680mm
		高木川	流域全体に24時間総雨量で686mm